

ニューカナック

『ステンレス鋼』への表面処理

従来のFeN主体の窒化とは異なり、CrN、MoN等を主体とした拡散処理

- ステンレスの表面硬さが1200HV以上
- 複雑な形状・深穴にも均一な硬化層が得られる
- 反り・膨張・寸法変化が少ない
- 欠け・剥離が少ない
- 表面粗さの変化が少ない
- 処理後に溶接ができる
- 表面の微細な凹凸により滑り性が向上
- 再処理が可能

様々な現場におすすめ

- ・ コンパウンド・ペレット製造工場
- ・ パーツフィーダー・搬送ライン
- ・ プラスチック成形工場
- ・ 刃物(固定刃・回転刃・粉碎刃)

**摩耗対策、滑り性の改善、疲労強度の向上、コンタミ対策
ステンレス設備・装置のロングライフ化・生産性の改善に!**

